

スジアオノリがひらく未来

「スジアオノリがひらく未来」 河野 地里子
 (環境) 山陽新聞さんデジ水質調査 旭川が二年連続ワースト 旭川

私が取り上げた記事は、「水質調査 旭川が二年連続ワースト」という記事だ。私は、旭川の水質改善対策として、スジアオノリの栽培を提案する。

この記事は、国土交通省中国地方整備局が昨年度の一級河川の水質調査結果をまとめたところ、中国五県の対象となる十五河川のうち、岡山県の旭川が二年連続のワーストとなったというものだ。旭川は閉鎖性の高い児島湾に流れ込むため、児島湾に注ぐ河口付近のプランクトン濃度が高くなったことが要因とみられている。

私がスジアオノリの栽培を提案したのは、学校の探究活動でスジアオノリと水質浄化の関連について研究しており、実験の結果、水質浄化能力があると認められたからだ。スジアオノリの水質浄化までの仕組みについて説く。下水や生活排水が流れ込んで川を汚染すると、水中のアンモニアムイオンは、土壌や河川

スジアオノリがひらく未来

川などに広く存在する硝化菌によって、硝酸態窒素に変化する。そして、スジアオノリに吸収されると水質浄化につながる。私は実際に調べるため、次のような実験を行った。最初に、培養したスジアオノリの培地に硝酸アモニウムを入れて水質が汚染された状況をつくる。次に、①無菌（硝化菌を含まない）でスジアオノリ無し、②無菌でスジアオノリ有り、③有菌（硝化菌を含む）でスジアオノリ無し、④有菌でスジアオノリ有りの四つのパターンに分けて、九一日置いた。すると、硝酸態窒素濃度が、①では約5%、②では約70%、③では約35%上昇した。一方、④では約79%低下した。これは、スジアオノリの硝酸態窒素の吸収が進んだため、硝酸態窒素濃度が低下したと考えられる。つまり、スジアオノリに水質浄化作用があるといふことがわかった。また、私が旭川にスジアオノリの栽培を提案した理由は他にもある。まず、スジアオノリは海水と太陽光のみで育つので、

20 X 20

栽培に負担がかからない。そして、スジアオノリは青のり類の中で最も香り高い品種であり、高級品として取り扱われている。スジアオノリの栽培は、旭川の新しい特産品として地域の活性化と産業の創出の可能性を秘めているのだ。

食用に使われるスジアオノリ。しかし、他の側面に光を当てることで、思わぬ魅力が見えてくる。スジアオノリの栽培は、徳島と岡山をつなぐ架け橋にもなるはずだ。